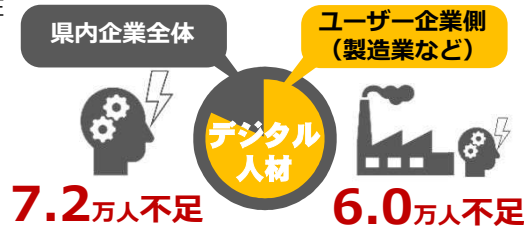


「あいちデジタル人材育成支援アクションプラン」概要

デジタル人材を巡る愛知県の現状

○デジタル人材の充足状況

- ・2030年には、全国でデジタル人材（IT人材、ICT人材）が45万人不足。
デジタル人材の内訳は、ユーザー企業側（デジタル技術活用側）が約3割と少なく、ITベンダー側に偏在
- ・愛知県においては、**現状で約7.2万人のデジタル人材が不足し、とりわけ、製造業を始めとするユーザー企業側では、約6.0万人が不足**（2021年度愛知県推計）



○中小企業におけるデジタル人材の育成・確保の現状

- ・約6割の企業はデジタル技術の活用方法の認知・理解不足
- ・多くの企業は自社でデジタル人材の育成・確保が困難
- ・約8割の企業はデジタル人材の不足を指摘
- ・「**自社の業務とデジタル技術の両方を理解する人材**」が求められる

○教育現場における現状

- ・1人1台端末の整備等、学校のICT環境は急速に拡充

課題

- 1 製造業を中心とする中小企業では、**デジタル人材が質・量ともに不足し、デジタル化・DXの大きな壁の1つ**
- 2 働く人や離転職者に対する**デジタル技術の習得・学び直しをする機会が不足**
- 3 教育現場において**未来の産業を担うデジタル人材の育成が必要**

本プランの位置付け

- 「あいちビジョン2030」、「第11次愛知県職業能力開発計画」等を踏まえ、概ね2025年度までのデジタル人材育成施策を取りまとめ
- 「あいち産業DX推進コンソーシアム」の取組のうち「人材育成支援」を担う

目指すべき姿

デジタル人材育成支援を通じて県内産業のデジタル化・DXを推進

- 経営者から現場まで人材育成の施策が用意され、**中小企業を始めとする県内企業がデジタル化・DXを推進しやすくなる**
- 働く人や離転職者が**今後必要となるデジタル技術を習得し、活躍できる**
- 学校のICT環境整備と教員のデジタル対応により、**児童生徒が質の高いICT環境で学ぶことができる**

施策の方向性

1 <中小企業への支援> 中小企業を始めとする企業内のデジタル人材育成の支援

- 経営者、幹部社員等へのデジタル研修の大幅な強化
- 在職者に対するデジタル能力付与機会の大幅な増加
- 産業のデジタル化・DXに必要なデータの分析・活用人材の重点的育成
- 中小企業におけるデジタル人材育成方策やカリキュラムの作成、実施等の伴走支援

2 <離転職者への支援> 離転職者へのデジタル関連訓練の充実と企業へのマッチング

- 県立高等技術専門学校における施設整備とデジタル人材育成コースの増設
- 離転職者に対するデジタル活用分野コースの充実
- 産業界のニーズを踏まえた人材育成と、企業と人材とのマッチングの実施

3 <未来の産業を担う人材への支援> 未来の産業を担うデジタル人材育成

- 大学等と企業が連携する環境整備を通じたインターンシップやリカレント教育の充実
- 県立高校におけるデジタル人材育成コースの創設と拡充
- 教育現場のデジタル化やICTを活用した学校教育等を強力に推進

主な具体的な取組

1 <中小企業への支援> 中小企業を始めとする企業内のデジタル人材育成の支援

- 経営者層向けセミナーや新事業開発リーダー等向けの研修を実施【目標300人/年度】
- 在職者訓練におけるデジタル関連を過半数に拡大**【目標840人/年度】、企業の要望に応じて行うオーダーメイド型の在職者訓練（デジタル関連）の拡大
- 企業内のデータ分析・活用人材育成**【目標1,200人/年度】
- 専門家を派遣して、企業ニーズに応じた社内研修カリキュラムを作成し、**研修の実施から終了後のフォローアップまで伴走支援**を実施

2 <離転職者への支援> 離転職者へのデジタル関連訓練の充実と企業へのマッチング

- 県立岡崎高等技術専門学校に**3Dモデリング科**（2022年度～）、**ロボットシステム科**（仮称）（2025年度～）を新設
- 雇用セーフティネット対策訓練の過半数で、プログラミング等の**デジタル活用分野の訓練**を実施【目標3,000人以上/年度】
- 産業界と連携してデジタル人材育成**カリキュラムの共同開発**を拡充（2021年度から先行実施）し、産業界のニーズに応じた人材育成と就職支援を実施

3 <未来の産業を担う人材への支援> 未来の産業を担うデジタル人材育成

- 県内の大学等や経済団体と連携し、**企業への長期インターンシップ**等を実施
- 県立工科高校のIT工学科やロボット工学科**において、モノづくり現場の即戦力となるデジタル人材を育成。また、**県立商業高校にITビジネス科**（2023年度～）を設置し、ビジネス分野におけるデジタル人材を育成
- 県立高校及び特別支援学校において、1人1台端末の整備を進めるとともに、通信環境の改善を図り、GIGAスクール構想を実現させ、**ICTを活用した教育を推進**